

# 獅子舞あり、オーケストラあり、歌あり、バレエあり! あれもこれも全部、やります! 贅沢ニューイヤー・コンサート

大迫力の獅子舞による熱烈な歓迎を受け、シュトラウス音楽の高貴で軽やかな響きに身を浸す夢のような時間…横浜ニューイヤーの定番!横浜みなとみらいホールオープニング・コンサートがこの初春も開催されます!

今回は、ここ日本でも長年にわたり公演を重ね、音楽の楽しさ満載のステージで人気のウィンナー・ワルツ・オーケストラが登場。誰もが一度は聴いたことのある名曲をすらすらと並び、さらにはソプラノ、バレエダンサーまで登場する贅沢さはこのオーケストラならではの。そして超絶デュオ・ユニットとしてウィーン・アーティスト・オブ・ザ・イヤーを受賞した「ヤヴォルカイ兄弟」こと、指揮&ヴァイオリンを務めるシャンドル・ヤヴォルカイ&首席チェロ奏者のアダム・ヤヴォルカイの参加にも注目です。2人の超絶パフォーマンスにも期待が高まります。



圧巻の中華獅子舞

さらには横浜だけの特別演出として、今回も中華獅子舞が開場時に登場!誰もが思わず感嘆の声を上げてしまう大迫力の舞いは必見です。ちなみに中華獅子舞は、噛まれると魔除けのご利益あるのだとか。観るだけでなく、思い切って噛まれてみるのもいいかも…!また、お帰り時にはお年玉としてオリジナル・グッズを用意。オープニング・コンサートならではの贅沢さは今回も変わりません。

観て聴いて、とことん楽しめるニューイヤー。新年最初のコンサートは、やっぱりこれで決まり!!

## ウィンナー・ワルツ・オーケストラ

「ウィンナー・ワルツ・オーケストラ」は、ウィンナー・ワルツのルネッサンス(復興)をモットーに、シュトラウスのウィンナー・ワルツを最高の形でお客様にお届けすることを目指して結成された。日本でもすっかりお馴染みとなったサンドロ・クトゥレーロにより設立され、毎年、「ワルツへの愛と情熱」に賛同した才能あふれる演奏家が参加している。

オーケストラは約25名の弦・木管・金管・打楽器により構成され、さらに曲によってダンサーが華麗な踊りや軽快なステップで会場を盛り上げ、ソプラノ歌手が美しい歌声で会場の空気を震わせるなど、ウィンナー・ワルツを楽しませる演出が盛り沢山のコンサートが好評を博している。25回目を迎える今回の公演では、ウィンナー・ワルツ・オーケストラのDNAを受け継ぐシャンドル・ヤヴォルカイを指揮者兼ヴァイオリニストとして迎え、ヨハン・シュトラウス2世を彷彿させる弾き振りとユーモア溢れる演出で、聴く人々を魅了する。

## 指揮・ヴァイオリン: シャンドル・ヤヴォルカイ

3歳からヴァイオリンの指導を受け、5歳でデビューを果たす。フランク・リスト音楽院および、ウィーン国立音楽大学で学ぶ。ソリストとしてベルリン交響楽団、ドレスデン・フィル、トーンキュンストラ管弦楽団、大阪交響楽団などと共演。

2009年には弟アダム(チェロ)と共に、ウィーンの名高き音楽賞「ウィーン・アーティスト・オブ・ザ・イヤー」を受賞。2019年11月にウィーンのコンツェルトハウスにて開催されたブタペスト・オペレッタ・ガラに兄弟でゲスト出演し、ジュール・フィリハーモニー管弦楽団と共演したジブシー音楽は各方面から好評を博した、リムスキー=コルサコフの『熊蜂の飛行』を世界最速で演奏できると自称しており、その超絶技巧とユーモラスなキャラクターは世界各地で称賛されている。

## ソプラノ: エルヴィラ・ハラシュティ ダンサー4名出演



ウィンナー・ワルツ・オーケストラ  
Vienna Walzer Orchestra